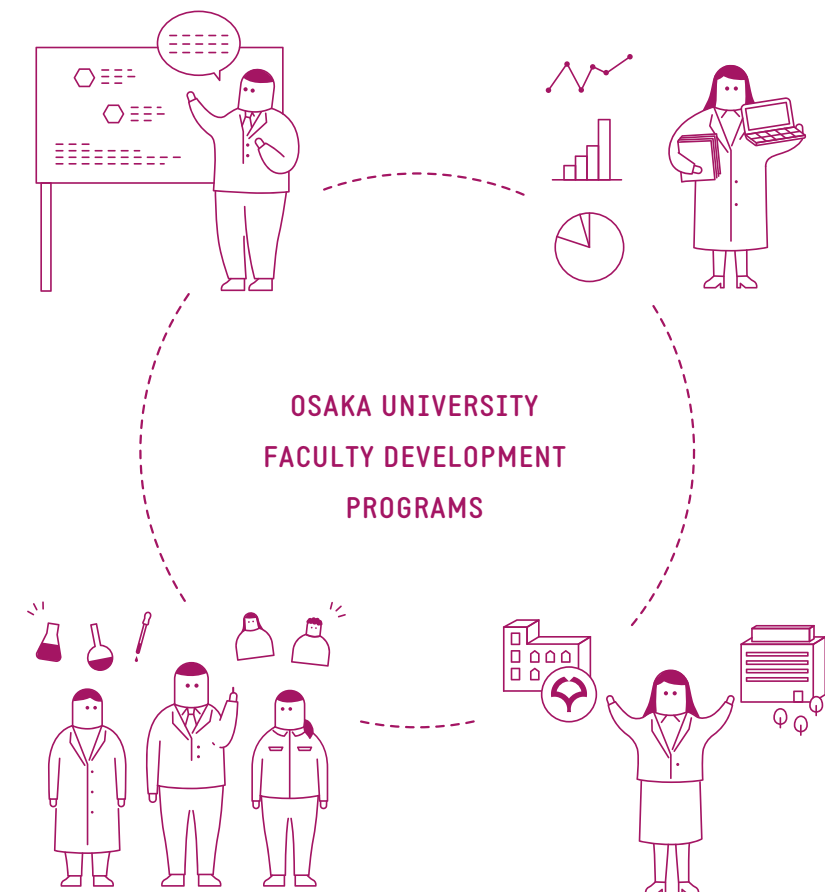


大阪大学教員のための

ファカルティ・ディベロップメント プログラムガイド



お問い合わせ先

各FDプログラムの詳細については、
開催部局にお問い合わせください。



発行元

大阪大学全学教育推進機構教育学習支援部
〒560-0043 豊中市待兼山町1-16 豊中キャンパス
全学教育総合棟Ⅱ4階417
<http://www.tlsc.osaka-u.ac.jp/>



2019 年度

10 月～3 月

大阪大学教員の皆様へ

近年、大学はさまざまな「改革」を社会から求められています。中でもとりわけ重要なことは、高等教育機関としての大学が優れた人材を育成し、社会に貢献していくことです。そのためには、教育を担う立場にある教員に高い教育・研究能力を備えることが必要であります。

本学は、2017年10月以降新たに採用された教員に対して、教育や研究に関する30時間の研修プログラムの受講を必須化しております。この取り組みによって、大学の社会に対する説明責任を果たすとともに、本学の各教員に、教員として必要となる能力を身につける権利を保障するものです。

もとより本プログラムガイドに掲載されているセミナーや研修自体は、新任教員だけではなく、全教員を対象として設計されています。本学の教育、研究、社会学連携、マネジメントすべての領域で高いパフォーマンスを発揮するため、できるだけ多くの教員の皆様にご参加いただきたいと思います。

新任教員の皆様へ

本学では、従来から教育指導・学習支援・学生支援能力の向上を図り、質の高い教育・学生支援活動の維持を目的として、FD（ファカルティ・ディベロップメント）に積極的に取り組んできました。これに加えて、本学へ新規採用となった教員の皆様に、本学の教員として身につけておくべき基本的な知識やスキルを習得する機会を提供するため、新任教員研修を必須化し、本学の教育、研究、社会学連携、学内運営に関する取組のさらなる向上を目指しています。

本学へ新規採用となった講師・助教等の教員の皆様には、このプログラムガイドを参考に、全学及び各部署が実施する各種教員向け研修を採用後3年間で30時間受講していただき、教育、研究、社会学連携及びマネジメント能力の習得に努めてください。

2019年度後期のプログラムも多岐にわたる研修が開講されます。本学の教員として教育研究に携わるうえで有益なものですので、積極的な受講をお願いします。



理事・副学長(教育担当)

田中敏宏

概要

大阪大学ファカルティ・ディベロップメント研修プログラム

大阪大学はFD（ファカルティ・ディベロップメント）に積極的に取り組んでいます。本プログラムは、教員として必要な①教育能力、②研究能力、③社会学連携能力、④マネジメント能力の4つのカテゴリーに分けて整理されています。伸ばしたい能力にあわせてプログラムガイドをご活用ください。

教育能力

開発プログラム

教育技法や教材作成方法、評価方法、学内の授業支援システム（CLE）の操作方法、多様な学生への理解など、阪大生の学習を促すための授業設計に関するプログラムです。

研究能力

開発プログラム

学術情報の迅速かつ効率的な収集方法や発信方法、厳守すべき研究倫理など、研究を行う上で必要な能力開発を目指すプログラムです。

マネジメント能力

開発プログラム

薬品や廃液の取扱など安全衛生に関わる内容や、各種コンプライアンスに関わる内容など、組織の管理運営能力の開発を目指すプログラムです。



社会学連携能力

開発プログラム

緒方洪庵が開いた適塾や大阪大学の歴史など本学への理解を深めるプログラムや、実社会と連携した教育や研究の進め方についてのプログラムです。

大阪大学全学FDプログラム受講証明制度

大阪大学全学教育推進機構教育学習支援部（旧：教育学習支援センター）では、2014年度から全学FDプログラムの受講証明制度を実施しています。受講者は大阪大学CLEにおいて受講時間数（FDポイント）と、受講した時間数によって色が変わるFDバッジを確認することができます。また、教育学習支援部では、受講者の申し出に応じて、30時間ごとに修了証明書を発行します（上限120時間）。

FDバッジの確認方法



FDバッジの種類



1. CLEに阪大IDでログインする。
2. コミュニティから「教育学習支援共通（TLSC）FD」をクリックする。
3. 左側の「FDバッジの確認」をクリックする



研修プログラム受講必須時間数

新任教員の皆さんは以下の通り各プログラムを受講してください。

- ▶ 教育能力 開発プログラム 10時間以上
- ▶ 研究能力 開発プログラム 4時間以上
- ▶ 社会学連携能力 開発プログラム あわせて6時間以上
- ▶ マネジメント能力 開発プログラム あわせて6時間以上

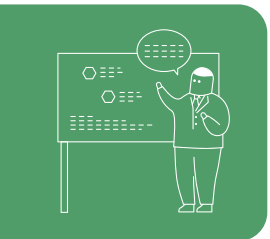
研修プログラム一覧〈令和元年度下期(2019.10～2020.3)開催分〉

※掲載内容は8月16日時点の情報です。
 最新情報は各開催部局にお問い合わせいた
 だくか、学内ポータルサイト「マイハントイ」
 (FD 関係) にてご確認ください。



カテゴリ	掲載ページ	対象者の限定	研修題目 (研究テーマ/タイトル)	場所	日時	時間数	募集定員	使用言語	開催部局
10 月									
教育	P.6	－	ストレスと健康について	吹田	10 月 2 日 13:30-16:00	2.5	30 名	日本語	工学研究科
マネジメント	P.19	○	コンプライアンス講習会	吹田	10 月 9 日 13:30-14:30	1	100 名	日本語	工学研究科
教育	P.6	－	グループ学習	豊中	10 月 17 日 14:40-16:40	2	30 名	日本語	全学教育推進機構 教育学習支援部
教育	P.6	－	教育の存在意義について考える	豊中	10 月 18 日 10:30-12:00	1.5	20 名	日本語	CO デザインセンター
研究	P.13	－	日本の研究助成金制度及び科研費の申請について	吹田	10 月 18 日 14:00-15:30	1.5	30 名	English	経営企画オフィス研究支援部門
研究	P.13	○	研究倫理教育及び研究費不正使用防止に関する説明会	吹田	10 月 23 日 14:00-15:15	1.25	130 名	日本語	産業科学研究所
教育	P.6	－	アクティブ・ラーニング	吹田	10 月 23 日 14:40-16:40	2	30 名	日本語	全学教育推進機構 教育学習支援部
教育	P.7	－	オンライン学習教材作成法	吹田	10 月 24 日 13:30-15:00	1.5	30 名	日本語	全学教育推進機構 教育学習支援部
マネジメント	P.19	○	サイバーメディアセンターハラスメント防止に関する研修会	吹田	10 月 24 日 13:30-14:30	1	未設定	日本語	サイバーメディアセンター
マネジメント	P.19	○	サイバーメディアセンターハラスメント防止に関する研修会	豊中	10 月 24 日 13:30-14:30	1	未設定	日本語	サイバーメディアセンター
教育	P.7	－	講義収録システム活用法	吹田	10 月 28 日 14:40-16:10	1.5	30 名	日本語	全学教育推進機構 教育学習支援部
社会学連携	P.17	－	社会と大学をつなぐ - 大阪大学の社会学共創 -	豊中	10 月 29 日 15:30-17:00	1.5	30 名	日本語	共創機構社会学共創本部
教育	P.7	－	オンライン学習教材作成法	豊中	10 月 31 日 16:20-17:50	1.5	30 名	日本語	全学教育推進機構 教育学習支援部
教育	P.7	－	講義収録システム活用法	豊中	10 月 31 日 18:00-19:30	1.5	30 名	日本語	全学教育推進機構 教育学習支援部
教育	P.7	○	FD 講演会 (外部講師によるモデル授業 & 意見交換会)	豊中	10～12 月 (予定)	3	未設定	日本語	高等司法研究科
マネジメント	P.19	－	大阪大学薬品管理支援システム (OCCSIV) の利用について	吹田	10 月下旬～ 11 月上旬	1	50 名	日本語	安全衛生管理部
マネジメント	P.19	－	大阪大学薬品管理支援システム (OCCSIV) の利用について	豊中	10 月下旬～ 11 月上旬	1	50 名	日本語	安全衛生管理部
マネジメント	P.19	－	実験系廃液・排水の取扱い	吹田	10 月下旬～ 11 月上旬	0.83	50 名	日本語	安全衛生管理部
マネジメント	P.19	－	実験系廃液・排水の取扱い	豊中	10 月下旬～ 11 月上旬	0.83	50 名	日本語	安全衛生管理部
マネジメント	P.20	－	非化学系のための化学薬品取扱講習	吹田	10 月下旬～ 11 月上旬	1.5	50 名	日本語	安全衛生管理部
マネジメント	P.20	－	非化学系のための化学薬品取扱講習	豊中	10 月下旬～ 11 月上旬	1.5	50 名	日本語	安全衛生管理部
マネジメント	P.20	－	高圧ガス・液体寒剤に関する安全講習 (低温センター吹田分室編)	吹田	10 月下旬～ 11 月上旬	1.5	50 名	日本語	安全衛生管理部
マネジメント	P.20	－	高圧ガス・液体寒剤に関する安全講習 (低温センター豊中分室編)	豊中	10 月下旬～ 11 月上旬	1.5	50 名	日本語	安全衛生管理部
マネジメント	P.20	－	大阪大学高圧ガス管理支援システム (OGCS) 利用講習	吹田	10 月下旬～ 11 月上旬	1	50 名	日本語	安全衛生管理部
マネジメント	P.20	－	大阪大学高圧ガス管理支援システム (OGCS) 利用講習	豊中	10 月下旬～ 11 月上旬	1	50 名	日本語	安全衛生管理部
マネジメント	P.21	－	電気コンセント・配線およびレザー取扱いに関する安全講習	吹田	10 月下旬～ 11 月上旬	1	50 名	日本語	安全衛生管理部
マネジメント	P.21	○	公的研究費の不正使用防止に係るコンプライアンス説明会	吹田	10 月～11 月 (予定)	0.5	未定	日本語	サイバーメディアセンター
マネジメント	P.21	○	公的研究費の不正使用防止に係るコンプライアンス説明会	豊中	10 月～11 月 (予定)	0.5	未定	日本語	サイバーメディアセンター
11 月									
教育	P.7	－	大学教員のための著作権法入門	吹田	11 月 5 日 16:20-17:50	1.5	50 名	日本語	知的基盤総合センター 全学教育推進機構 教育学習支援部
教育	P.8	－	自閉症スペクトラム障害のない、 その傾向にある学生への対応について	吹田	11 月 6 日 13:30-16:00	2.5	30 名	日本語	工学研究科
教育	P.8	－	ルーブリック評価	豊中	11 月 7 日 14:40-16:40	2	30 名	日本語	全学教育推進機構 教育学習支援部
教育	P.8	－	障がい学生や就職困難な学生のキャリア・就職支援	豊中	11 月 7 日 15:00-16:00	1	20 名	日本語	キャリアセンター
教育	P.8	○	身体障がい学生の修学支援について	箕面	11 月 7 日 16:00-17:00	1	120 名	日本語	言語文化研究科・外国語学部 キャンパスライフ健康支援センター
社会学連携	P.17	－	研究・教育のアウトリーチ活動における大学博物館の活用	豊中	11 月 8 日 13:00-14:30	1.5	30 名	日本語	総合学術博物館
教育	P.9	－	探究学習	吹田	11 月 12 日 10:00-12:00	2	30 名	日本語	全学教育推進機構 教育学習支援部
マネジメント	P.21	－	ポストドク・博士課程学生のキャリア・就職支援	吹田	11 月 12 日 15:00-16:00	1	30 名	日本語	キャリアセンター (産学共創本部人材育成部門)
教育	P.7	－	大学教員のための著作権法入門	豊中	11 月 12 日 16:20-17:50	1.5	50 名	日本語	知的基盤総合センター 全学教育推進機構 教育学習支援部
マネジメント	P.21	○	2019 年度 文学研究科ハラスメント防止研修会	豊中	11 月 14 日 17:30-19:00	1.5	100 名	日本語	文学研究科
マネジメント	P.22	－	ポストドク・博士課程学生のキャリア・就職支援 (パート 1)	豊中	11 月 19 日 12:15-12:45	0.5	30 名	日本語	キャリアセンター (産学共創本部人材育成部門)
教育	P.6	－	アクティブ・ラーニング	豊中	11 月 21 日 14:40-16:40	2	30 名	日本語	全学教育推進機構 教育学習支援部
マネジメント	P.22	○	言語文化研究科ハラスメント防止研修会	豊中	11 月 21 日 14:40-15:40 (予定)	1	未設定	日本語	言語文化研究科
研究	P.13	○	令和元年度 研究教育フォーラム	豊中	11 月 21 日 15:30-17:30	2	70 名	日本語	文学研究科

カテゴリ	掲載ページ	対象者の限定	研修題目 (研究テーマ/タイトル)	場所	日時	時間数	募集定員	使用言語	開催部局
11 月									
社会学連携	P.17	－	大阪大学の歴史	豊中	11 月 25 日 15:30-17:00	1.5	40 名	日本語	アーカイブズ
マネジメント	P.22	－	ポストドク・博士課程学生のキャリア・就職支援 (パート 2)	豊中	11 月 26 日 12:15-12:45	0.5	30 名	日本語	キャリアセンター (産学共創本部人材育成部門)
教育	P.9	－	シラバス作成法	豊中	11 月 28 日 14:40-16:40	2	30 名	日本語	全学教育推進機構 教育学習支援部
教育	P.9	－	双方向型授業導入のための基礎	豊中	11 月 28 日 15:30-17:30	2	40 名	日本語	CO デザインセンター
教育	P.9	○	授業見学会	豊中	11 月第 3 週 ～第 4 週	各 1.5	若干名	日本語	高等司法研究科
マネジメント	P.22	○	蛋白研防災安全講習会	吹田	11 月頃 (未定)	1	150 名	日本語	蛋白質研究所
12 月									
教育	P.10	－	大学におけるキャリア教育とは ～導入背景、具体的実践方法、大阪大学キャリア教育ポリシーについて～	豊中	12 月 2 日 15:00-16:00	1	30 名	日本語	キャリアセンター
マネジメント	P.23	○	コンプライアンス講習会	吹田	12 月 4 日 13:30-14:30	1	100 名	日本語／ English	工学研究科
教育	P.10	－	大学におけるキャリア教育とは ～導入背景、具体的実践方法、大阪大学キャリア教育ポリシーについて～	吹田	12 月 10 日 11:00-12:00	1	30 名	日本語	キャリアセンター
教育	P.9	－	シラバス作成法	吹田	12 月 12 日 14:40-16:40	2	30 名	日本語	全学教育推進機構 教育学習支援部
教育	P.9	－	探究学習	豊中	12 月 19 日 13:00-15:00	2	30 名	日本語	全学教育推進機構 教育学習支援部
教育	P.10	－	研究室の教育指導	豊中	12 月 19 日 15:15-16:45	1.5	30 名	日本語	全学教育推進機構 教育学習支援部
研究	P.13	－	トップダウン型外部資金の獲得に向けて (仮)	吹田	12 月頃	1.5	50 名	日本語	経営企画オフィス研究支援部門
研究	P.14	－	どのように「研究力」が測られているのか？ －研究力指標の解説とツールを使用した研究力分析手法について－	豊中	12 月頃	2	40 名	日本語	経営企画オフィス研究支援部門
研究	P.14	○	新任教員のための異分野研究交流会	豊中	12 月中旬	2	4～10 名	日本語	全学教育推進機構 教育学習支援部
マネジメント	P.23	－	未定 (同和問題に関するテーマの予定)	豊中	12 月又は 1 月 に開催予定	2	100 名	日本語	人権問題委員会
1 月									
教育	P.10	－	研究室の教育指導	吹田	1 月 9 日 15:30-17:00	1.5	30 名	日本語	全学教育推進機構 教育学習支援部
2 月									
教育	P.10	－	授業づくりワークショップ	豊中	2 月 6 日～2 月 7 日 (各日 10:00-18:00)	20	16 名	日本語	全学教育推進機構 教育学習支援部
教育	P.6	－	グループ学習	吹田	2 月 12 日 10:00-12:00	2	30 名	日本語	全学教育推進機構 教育学習支援部
教育	P.8	－	ルーブリック評価	吹田	2 月 17 日 14:40-16:40	2	30 名	日本語	全学教育推進機構 教育学習支援部
社会学連携	P.18	－	通塾から受け継ぐレガシー ―歴史・精神・文化財―	吹田	2 月ごろ (未定)	2.5	40 名	日本語	通塾記念センター
社会学連携	P.18	－	新任教員向け通塾見学会 ―阪大の歴史を辿る～	豊中 （吹田駅西口）	2 月ごろ (未定)	3	25 名	日本語	通塾記念センター
マネジメント	P.23	○	ハラスメント防止に関する講習会	吹田	2 月下旬 14:00-15:30	1.5	50 名	日本語	産業科学研究所
定期・不定期・複数月開催									
教育	P.11	－	iPad Café	豊中	毎月第 2 木曜日 16:30-18:00	1.5	30 名	日本語	全学教育推進機構 教育学習支援部
教育	P.11	－	コンサルティングサービス ―授業改善などのための個別相談―	豊中	随時	1	未設定	日本語	全学教育推進機構 教育学習支援部
教育	P.11	－	コンサルティングサービス ―授業改善などのための個別相談―	オンライン	随時	1	未設定	日本語	全学教育推進機構 教育学習支援部
教育	P.11	－	ワークショップ「大学教育改革私案をつくる」	豊中	11 月 11 日、12 月 9 日、 1 月 20 日 (各日 10:00-13:00)	9 (3×3 日)	30 名	日本語	全学教育推進機構 教育学習支援部
教育	P.11	○	F D 研修会	吹田	10 月、12 月、2 月 (日程未定)	各 1	60 名	日本語	蛋白質研究所
研究	P.14	－	アドバンストセミナー	吹田	毎月 1 回 16:00-17:00 頃	各 1	未設定	日本語／ English	微生物病研究所、 免疫学フロンティア研究センター
研究	P.15	－	英語論文の執筆スキルアップセミナー (Punctuation)	オンライン	随時	1	制限なし	English	経営企画オフィス研究支援部門
研究	P.15	－	英語論文の執筆スキルアップセミナー (Grammar and Usage)	オンライン	随時	1	制限なし	English	経営企画オフィス研究支援部門
研究	P.15	○	RIMD FD seminar series: Academic English for RIMD Researchers	吹田	2 月～3 月に 4 回開催予定	1.5 × 4 回	20 名	English	微生物病研究所
研究	P.15	○	微研集談会	吹田	12 月を除く 毎月第 4 火曜日 16:00-17:00	各 1	未設定	日本語／ English	微生物病研究所、 免疫学フロンティア研究センター
研究	P.16	○	蛋白研コロキウム	吹田	11 月、1 月、3 月 (日程未定)	各 0.5	60 名	日本語	蛋白質研究所
未定									
教育	P.12	○	文学研究科 2019 年度 F D 講演会・研修会	豊中	未定	1	90 名	日本語	文学研究科
教育	P.12	－	研究室不登校の学生の心のケアについて	吹田	未定	2.5	30 名	日本語	工学研究科
教育	P.12	○	授業見学会 (関西大学公開授業)	関西大学千里 キャンパス	2019 年秋季学期	各 1.5	未設定	日本語	高等司法研究科
研究	P.16	－	研究・教育の推進に資する図書館の利活用	吹田	未定	1.5	50 名	日本語	附属図書館
社会学連携	P.18	－	RIMD FD seminar series: 研究成果の社会実装を考える	吹田	未定	1.5	50 名	日本語／ English	微生物病研究所
社会学連携	P.18	○	プレスリリース講習会	吹田	未定	1.5	40 名	日本語	産業科学研究所
マネジメント	P.23	○	キャンパスハラスメントに関する研修会	箕面	未定	1	100 名	日本語	言語文化研究科・外国語学部
マネジメント	P.23	○	コンプライアンス講習会	吹田	未定	各 1	60 名	日本語	蛋白質研究所



教育能力 開発プログラム

教育技法や教材作成方法、評価方法、学内の授業支援システム(CLE)の操作方法、多様な学生への理解など、阪大生の学習を促すための授業設計に関するプログラムです。

◎受講にあたり、特別な配慮が必要な場合、開催2週間前までにご連絡ください。
◎本プログラムへの参加は「大阪大学FDポイント」に反映されます。ご自身のFDポイントはCLE上で確認できます。(FDポイントの確認方法はP.3をご参照ください)

ストレスと健康について

講師：中本かよ(大阪漢方医学振興財団 理事長)

吹田 10月2日 13:30-16:00

〈キーワード〉 ストレス・マネジメント、メンタルヘルスケア

〈概要〉

まず、ストレスと健康との関係について学びます。その後、健康で更なる良い研究・教育を実践するための、ストレス・マネジメントの具体的な手法として、足助式医療体操について学びます。

* 体験学習の都合上、動きやすい服装、履物でご参加頂けますようお願い申し上げます。

《問合先：工学研究科附属オープンイノベーション教育研究センター》
✉ honma@ceids.osaka-u.ac.jp(本間)》

 30名  2.5時間  日本語  対面

グループ学習

講師：西森年寿(人間科学研究科 教授)

大山牧子(全学教育推進機構 助教)

豊中 10月17日 14:40-16:40

吹田 2月12日 10:00-12:00

〈キーワード〉 グループ学習、授業デザイン、教育技法

〈概要〉

アクティブ・ラーニング型の授業が注目されています。アクティブ・ラーニング型の授業で多く導入されるグループ学習には、様々な種類がありますが、学生の深い学びをもたらすためには、目的に応じた方法を導入することが重要です。自らの授業の中でどのようにとりいれて良いのかお困りではないですか？本セミナーでは、大学の授業の中で実施され得る様々な種類のグループ学習と、その特徴を説明すると共に、授業の中で目的に応じてどのように導入するかを考えます。

《問合先：全学教育推進機構 教育学習支援部》
☎ http://www.tlsc.osaka-u.ac.jp/ ✉ tlsc@celas.osaka-u.ac.jp》



 30名  2時間  日本語  対面

教育の存在意義について考える

講師：池田光穂(CO デザインセンター 教授)

豊中 10月18日 10:30-12:00

〈キーワード〉 ポスト産業社会、高等教育、成人教育、イヴァン・イリッチ、大学解体論

〈概要〉

『脱学校の社会』(Deschooling society, 1971)を書いたイヴァン・イリッチをご存知でしょうか？学校教育批判はそれまでも沢山ありましたが、当時の第三世界の視座を踏まえた最も秀逸なものでした。その後、問題に基づく学習(PBL)やアクティブラーニングの登場、学習環境を変えたインターネットなどのドラスティックな変化がありました。『脱学校』の読み直しと小グループ議論を通して、今日の大学教育の意義について反省的に考え、皆さんの様々な意見交換の場にしたいと思います。

《問合先：全学教育推進機構等事務部(CO デザインセンター総務担当)》
☎ http://cscd.osaka-u.ac.jp/ ✉ yamada-t@office.osaka-u.ac.jp》



 20名  1.5時間  日本語  対面

アクティブ・ラーニング

講師：村上正行(全学教育推進機構 教授)

豊中 11月21日 14:40-16:40

吹田 10月23日 14:40-16:40

〈キーワード〉 アクティブ・ラーニング、教育技法

〈概要〉

アクティブ・ラーニングとは、学生の学習意欲の向上や汎用的能力の育成に有効な教授・学習法の総称です。本研修では、大学におけるアクティブ・ラーニングの導入背景や、授業にアクティブ・ラーニングを取り入れる方法を説明します。また、学生の主体的な学習活動を促す様々な教育技法を組み合わせアクティブ・ラーニング型授業をデザインするワークを行います。

《問合先：全学教育推進機構 教育学習支援部》
☎ http://www.tlsc.osaka-u.ac.jp/ ✉ tlsc@celas.osaka-u.ac.jp》



 30名  2時間  日本語  対面

オンライン学習教材作成法

講師：榎藤千恵(全学教育推進機構 特任研究員(常勤))

豊中 10月31日 16:20-17:50

吹田 10月24日 13:30-15:00

〈キーワード〉 オンライン学習、e-ラーニング、オンデマンド講義

〈概要〉

オンライン学習教材を活用して対面授業と組み合わせた反転学習やブレンド型学習を導入する大学が増えています。本セミナーでは、オンライン教材に必要な学習教材、特にレクチャービデオの作成方法についてハンズオンセミナーを行います。

* 当日はノートパソコン(WindowsもしくはMac)をご持参ください。

* 本セミナーでは実際に自分のノートパソコンを使ってDIYでのレクチャービデオ作成を行います。実際にビデオ作成をお考えの先生はビデオで使用するスライド素材などをお持ちください。

《問合先：全学教育推進機構 教育学習支援部》
☎ http://www.tlsc.osaka-u.ac.jp/ ✉ tlsc@celas.osaka-u.ac.jp》



 30名  1.5時間  日本語  対面

講義収録システム活用法

講師：浦西友樹(サイバーメディアセンター 准教授)

浦田悠(全学教育推進機構 特任講師(常勤))

豊中 10月31日 18:00-19:30

吹田 10月28日 14:40-16:10

〈キーワード〉 ICT活用、アクティブラーニング

〈概要〉

echo360社のアクティブラーニングプラットフォーム(ALP)を用いれば、お手持ちのパソコンで手軽にビデオ教材を作成・配信することができ、予習や復習、補講のみならず、部局や研究室でのオンライン講習等にもご利用いただけます。また、ウェブカメラを使えば、パソコン画面と教員の顔や教室の映像の2画面を同時に収録することも可能です。本セミナーでは、ご自身のノートパソコンで実際に映像教材をつくりながら、授業での活用方法をご検討いただけます。

* 当日はノートパソコン(WindowsもしくはMac)をお持ち下さい。USBカメラは幾つか準備しておりますが、数が足りない場合はご容赦ください。

《問合先：全学教育推進機構 教育学習支援部》
☎ http://www.tlsc.osaka-u.ac.jp/ ✉ tlsc@celas.osaka-u.ac.jp》



 30名  1.5時間  日本語  対面

限定 法学系全教員のみ対象

FD講演会(外部講師によるモデル授業&意見交流会)

講師：外部講師(他大学法科大学院等の教員)2名

豊中 10～12月(予定)

〈キーワード〉 説明、指示、板書、配布資料、教室マネジメント

〈概要〉

高等司法研究科FD・教育企画委員会が招いた他大学法科大学院等の講師の授業において、授業の進め方、教授方法、配布資料等を実際に見学・見聞し、その直後に当該講師と意見交換を行うことによって、授業の技法を修得します。

《問合先：高等司法研究科 教務係》
✉ houkou-kousikyomu@office.osaka-u.ac.jp》

 未設定  3時間  日本語  対面

大学教員のための著作権法入門

講師：秋山卓也(知的基盤総合センター 准教授)

豊中 11月12日 16:20-17:50

吹田 11月5日 16:20-17:50

〈キーワード〉 著作権、知的財産、授業、教材

〈概要〉

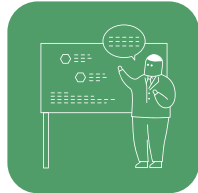
まず、大学教員にとって必要となる著作権法に関する基礎的な知識について学びます。その上で、主に大学での教育活動において著作物を利用する具体的な場面を念頭におきながら、著作権の関係で気を付けるべき点について学びます。

《問合先：知的基盤総合センター》
✉ t-akiyama@iprism.osaka-u.ac.jp》

 50名  1.5時間  日本語  対面

 定員  受講時間  使用言語  研修形式

※掲載内容は8月16日時点の情報です。最新情報は各開催部局にお問い合わせいただくか、学内ポータルサイト「マイハ نداイ」(FD関係)にてご確認ください。



教育能力 開発プログラム

自閉症スペクトラム障害ないし、 その傾向にある学生への対応について

講師：望月直人(キャンパスライフ健康支援センター 准教授)

吹田 11月6日 13:30-16:00

〈キーワード〉 自閉症スペクトラム障害、教育指導

〈概要〉

自閉症スペクトラム障害の原因を理解し、教育現場で出来ることを模索する。

《問合先：工学研究科附属オープンイノベーション教育研究センター ✉ honma@ceids.osaka-u.ac.jp(本間)》

30名 2.5時間 日本語 対面

ルーブリック評価

講師：浦田悠(全学教育推進機構 特任講師(常勤))

佐藤浩章(全学教育推進機構 准教授)

豊中 11月7日 14:40-16:40

吹田 2月17日 14:40-16:40

〈キーワード〉 ルーブリック、パフォーマンス評価

〈概要〉

1枚目のレポートの採点基準と50枚目のそれがずれていると気になったことはありませんか？評価にかける時間をもっと短縮できたと思ったことはありませんか？ルーブリックがそんな悩みを解決してくれます。ルーブリックとは、教育・学習成果の評価の厳密化と効率化を進めるために使われる評価ツールです。本セミナーではルーブリックの作成手続きと様々な事例を紹介しながら、自らの授業で活用できるルーブリックを実際に作成します。成績評価の厳密化と効率化を進めたい教員だけではなく、カリキュラム・プログラム評価に関心のある教職員、人事評価に関心のある教職員の方にも有用な内容です。

* 参加者は事前に送付されるファイルを取り込んだパソコンを持参ください。持参できない場合はパソコンを使わずに紙で作業もできます。

《問合先：全学教育推進機構 教育学習支援部 ☎ http://www.tlsc.osaka-u.ac.jp/ ✉ tlsc@celas.osaka-u.ac.jp》



30名 2時間 日本語 対面

障がい学生や就職困難な 学生のキャリア・就職支援

講師：吉田裕子(キャンパスライフ健康支援センター 特任研究員(常勤))

豊中 11月7日 15:00-16:00

〈キーワード〉 就職支援、障がい学生支援、合理的配慮

〈概要〉

障害者差別解消法（2016年4月施行）により、国公立大学では合理的配慮の提供が義務化され、大学でも修学上の障がい学生支援体制は整備されつつあります。しかし、そのような支援を受けてきた学生が社会に出て同等の支援を受けられとは限りません。就職活動についても他の学生とは状況が違います。障がい学生、障がいとはいえないまでも就職に困難を抱えている学生の就職支援の現状や就労支援を行う社会資源についての知識を深めます。

《問合先：キャリアセンター ✉ office@career.osaka-u.ac.jp》

20名 1時間 日本語 対面

限定 言語文化研究科・外国語学部 キャンパスライフ健康支援センター構成員のみ対象

身体障がい学生の修学支援について

講師：中野聡子(キャンパスライフ健康支援センター 講師)

箕面 11月7日 16:00-17:00

〈キーワード〉 視覚障がい、聴覚障がい、肢体不自由、大学院、合理的配慮、情報アクセス、地域リソース活用、心理

〈概要〉

大学院生を中心とした身体障がい学生への合理的配慮のあり方について知る。

《問合先：言語文化研究科・外国語学部 箕面事務室 庶務係 ✉ genbun-minoh-shomu@office.osaka-u.ac.jp》



120名 1時間 日本語 対面

定員
受講時間
使用言語
研修形式

探究学習

講師：佐藤浩章(全学教育推進機構 准教授)

豊中 12月19日 13:00-15:00

吹田 11月12日 10:00-12:00

〈キーワード〉 問い、探究、アクティブラーニング

〈概要〉

学生の主体的な学びを促進するためには、探究を基盤とした学習（Inquiry-based learning）を授業やカリキュラムに導入していく必要があります。IBLは卒業論文のように長期的なものから、2コマ程度で完結するような短期的なものもあります。探究学習は自律学習の理念型ですが、課題だけを与えて放任するだけではうまくいきません。IBLを構成する要素には、課題、問いづくり、目標、タイムスケジュール、プロジェクトマネジメント、評価がありますが、本セミナーでは、それぞれを適切に設定する方法について学びます。

《問合先：全学教育推進機構 教育学習支援部 ☎ http://www.tlsc.osaka-u.ac.jp/ ✉ tlsc@celas.osaka-u.ac.jp》



30名 2時間 日本語 対面

シラバス作成法

講師：大山牧子(全学教育推進機構 助教)

豊中 11月28日 14:40-16:40

吹田 12月12日 14:40-16:40

〈キーワード〉 シラバス、授業設計、目的、目標、スケジュール、評価

〈概要〉

シラバスは授業の設計図であり、授業の出発点です。そのシラバスの記載は十分に学生の学習を促すものになっているでしょうか。あるいは、国際社会で通用するものになっているでしょうか。外部評価においても、そして教員の個人業績評価においても、シラバスの重要性は高まっています。本セミナーでは、学生の自学自習を促すシラバス作成方法を身につけます。ぜひ新しいシラバスを使ってスタートしましょう。

* 参加者はご自身のシラバス（どれか1つ）を持参ください。（ご自身のシラバスがない方は、専門領域に近い科目等のシラバスを1つご持参ください）

《問合先：全学教育推進機構 教育学習支援部 ☎ http://www.tlsc.osaka-u.ac.jp/ ✉ tlsc@celas.osaka-u.ac.jp》



30名 2時間 日本語 対面

双方向型授業導入のための基礎

講師：平田オリザ(COデザインセンター 特任教授(常勤))

豊中 11月28日 15:30-17:30

〈キーワード〉 演劇、ワークショップ、アクティブラーニング、コミュニケーション、大学入試改革

〈概要〉

簡単なコミュニケーションゲームの実践と解説、およびその意味づけの講義

* 動きやすい格好で参加してください。できればスカートは不可とさせていただきます。

《問合先：全学教育推進機構等事務部(COデザインセンター総務担当)
☎ http://cscd.osaka-u.ac.jp/ ✉ yamada-t@office.osaka-u.ac.jp》



40名 2時間 日本語 対面

限定 法学系全教員のみ対象

授業見学会

講師：高等司法研究科FD・教育企画委員会が選定した教員(複数名)

豊中 11月第3週～第4週

〈キーワード〉 説明、指示、板書、配布資料、教室マネジメント

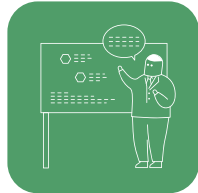
〈概要〉

高等司法研究科FD・教育企画委員会が選定した授業に参加し、授業の進め方、教授方法、配布資料等を実際に見学・見聞することによって、各自の授業を改善する手がかりを得ます。

《問合先：高等司法研究科 教務係 ✉ houkou-kousikyomu@office.osaka-u.ac.jp》

若干名 各1.5時間 日本語 対面

※掲載内容は8月16日時点の情報です。最新情報は各開催部局にお問い合わせいただくか、学内ポータルサイト「マイハ نداイ」(FD関係)にてご確認ください。



教育能力 開発プログラム

大学におけるキャリア教育とは ～導入背景、具体的実践方法、 大阪大学キャリア教育ポリシーについて～

講師：家島明彦(キャリアセンター 准教授)

豊中 12月2日 15:00-16:00
吹田 12月10日 11:00-12:00

〈キーワード〉キャリア教育

〈概要〉

大学設置基準の改正(42条の2新設)に伴い「キャリア教育の義務化」ということが言われてきましたが、そもそも「キャリア教育とは何か?なぜ大学で必要なのか?」を学ぶ機会は少なかったのではないのでしょうか?本セミナーでは、キャリア教育の定義や導入背景、大学の授業における具体的な実践方法(授業をキャリア教育化する方法)などについて学びます。大阪大学キャリア教育ポリシーについても確認します。

《問合先：キャリアセンター》office@career.osaka-u.ac.jp



30名
 1時間
 日本語
 対面

研究室の教育指導

講師：佐藤浩章(全学教育推進機構 准教授)

豊中 12月19日 15:15-16:45
吹田 1月9日 15:30-17:00

〈キーワード〉研究室教育、研究室マネジメント、研究室理念(ラボ・ポリシー)

〈概要〉

研究室教育は日本が誇る大学教育の方法です。徒弟制を基盤とした、この教育方法をうまく実施するには、研究室の理念(ラボ・ポリシー)の共有、年間に渡る教育イベントの設計など、いくつかのポイントがあります。優れた研究室教育の事例から、自身の所属する研究室への応用を考えます。

《問合先：全学教育推進機構 教育学習支援部》<http://www.tlsc.osaka-u.ac.jp/> tlsc@celas.osaka-u.ac.jp



30名
 1.5時間
 日本語
 対面

授業づくりワークショップ

講師：佐藤浩章(全学教育推進機構 准教授)

村上正行(全学教育推進機構 教授)

浦田悠(全学教育推進機構 特任講師(常勤))

根岸千悠(全学教育推進機構 特任助教(常勤))

増澤利光(全学教育推進機構 教育学習支援部長／情報科学研究科 教授)

豊中 2月6日～2月7日(各日10:00-18:00)

〈キーワード〉コースデザイン、学習者中心、シラバス、クラスデザイン、マイクロティーチング

〈概要〉

本ワークショップでは、2日間で学生中心の授業の設計方法を学んだうえで、ご自身のシラバスや授業のブラッシュアップを行います。また同じ悩みを抱えた、ほかの教員とアイデアを共有することで、今後の授業の質の向上を目指します。

* パソコン及び改善したいシラバスをご持参ください。

* 全課程修了後に修了証が授与されます。

* 通し研修となりますので、途中からの参加・退出はご遠慮いただいています。

《問合先：全学教育推進機構 教育学習支援部》<http://www.tlsc.osaka-u.ac.jp/> tlsc@celas.osaka-u.ac.jp

16名
 20時間
(事前課題含む)
 日本語
 対面



iPad Café

講師：岩居弘樹(サイバーメディアセンター 教授)

豊中 毎月第2木曜日 16:30-18:00

〈キーワード〉mobile apps and devices, interactive classroom, collaborative learning

〈概要〉

携帯端末・タブレット端末を活用して、学生同士・学生と教員のインタラクティブな授業を実現してみませんか。

iPad Cafe は、iPad の活用方法、HALC (Handai Active Learning Classroom:iPad 教室) の使い方、アプリ紹介やトラブル対応の方法など、自由に語り合う場です。どなたでも参加いただけます。HALC 以外の教室でも iPad を使ってみたい、学生のモバイル端末を活用したいという方も歓迎です。

《問合先：全学教育推進機構 教育学習支援部》<http://www.tlsc.osaka-u.ac.jp/> tlsc@celas.osaka-u.ac.jp



30名
 1.5時間
 日本語
 対面

コンサルティングサービス —授業改善などのための個別相談—

未設定
 1時間
 日本語
 対面／
オンライン

講師：全学教育推進 教育学習支援部教員

豊中 随時

オンライン 随時

〈キーワード〉授業デザインのプロセス、学生の学習、教育内容、学習成果、教授法、学習評価

〈概要〉

授業デザインやシラバス、教授法、評価などに関する様々なご相談を承っております。

【これまでのご相談例】

- ・授業中に質問しても学生の反応がない
- ・タブレット端末やスマートフォンを活用した授業をしたい
- ・英語での講義を担当することになったが、不安である
- ・研究室をうまくマネジメントできない

→ご要望に応じて、改善策を練るご支援や情報提供、ご提案をいたします。お気軽にご連絡ください。

《問合先：全学教育推進機構 教育学習支援部》<http://www.tlsc.osaka-u.ac.jp/> tlsc@celas.osaka-u.ac.jp

ワークショップ「大学教育改革私案をつくる」

講師：兼松泰男(理学研究科 教授)

豊中 11月11日、12月9日、1月20日(各日10:00-13:00)

〈キーワード〉カリキュラム、実践・実験・演習、課外の学び、研究と学び、アクティブラーニング、プロジェクトベースラーニング、STEM 教育、作ることで学ぶ、創造性、アントレプレナーシップ

〈概要〉

1日目：自身の関係した教育についての振り返りをもとに、構成メンバーがお互いを知る。チーム形成。

2日目：調査、分析に関する報告。改革提案に関する方向性討議。

3日目：大学教育改革提案発表

* 原則3日間すべてにご参加ください。

《問合先：全学教育推進機構 教育学習支援部》<http://www.tlsc.osaka-u.ac.jp/> tlsc@celas.osaka-u.ac.jp



30名
 9時間
(3時間
×3日間)
 日本語
 対面

限定 蛋白質研究所構成員のみ対象

F D 研修会

講師：各回によって異なる

吹田 10月、12月、2月(日程未定)

〈キーワード〉教育、研究、蛋白質

〈概要〉

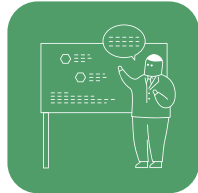
学内外から様々な分野の研究者や FD 担当専門員を招聘し、研修会を開催します。年数回、場所は蛋白質研究所本館講堂または大会議室で行います。若手研究者として大学院生も対象となる場合があります。

《問合先：蛋白質研究所 庶務係》tanpakuken-syomu@office.osaka-u.ac.jp

60名
 各1時間
 日本語
 対面

定員
 受講時間
 使用言語
 研修形式

※掲載内容は 8 月 16 日時点の情報です。最新情報は各開催部局にお問い合わせいただくか、学内ポータルサイト「マイハンダイ」(FD 関係)にてご確認ください。



教育能力 開発プログラム

限定 文学研究科構成員のみ対象

文学研究科 2019 年度 F D 講演会・研修会

講師：キャンパスライフ健康支援センター教員（講師未定）

豊中 未定

〈キーワード〉障がい学生、就学支援、発達障がい、身体障がい、精神障がい（うつ病、適応障がい等）

〈概要〉

講演及び質疑応答を通じて、障がい学生が経験する諸問題と、それへの対策について、具体的な事例を通じて学ぶ。

《問合先：文学研究科 庶務係》[✉ bunsouhaku-syomu@office.osaka-u.ac.jp](mailto:bunsouhaku-syomu@office.osaka-u.ac.jp)》

 90名
 1時間
 日本語
 対面

研究室不登校の学生の心のケアについて

講師：川西利昌（日本大学 名誉教授）

吹田 未定

〈キーワード〉研究室不登校、心のケア

〈概要〉

講師のカウンセラーとしての臨床経験から、不登校学生の対方法についてご教授頂く。

《問合先：工学研究科附属オープンイノベーション教育研究センター》[✉ honma@ceids.osaka-u.ac.jp](mailto:honma@ceids.osaka-u.ac.jp)（本間）》

 30名
 2.5時間
 日本語
 対面

限定 法学系全教員のみ対象

授業見学会（関西大学公開授業）

講師：関西大学 FD 委員会が選定した教員（複数名）

その他 2019年秋学期

〈キーワード〉説明、指示、板書、配布資料、教室マネジメント

〈概要〉

関西大学 FD 委員会が選定した授業に参加し、授業の進め方、教授方法、配布資料等を実際に見学・見聞することによって、各自の授業を改善する手がかりを得ます。

《問合先：高等司法研究科 教務係》[✉ hokou-kousikyomu@office.osaka-u.ac.jp](mailto:hokou-kousikyomu@office.osaka-u.ac.jp)》

 未設定
 各1.5時間
 日本語
 対面

日本の研究助成金制度及び 科研費の申請について

講師：大屋知子（経営企画オフィス 特任准教授）
姚馨（経営企画オフィス 特任講師）

吹田 10月18日 14:00-15:30

〈キーワード〉外部資金、科研費、研究支援、URA

〈概要〉

Designed for international faculty who just started their research career in Osaka University, the training workshop begins with an overview of research funding schemes in Japan, with a focus on KAKENHI; introduction to research support by URAs in Osaka University, including funding application support, follows next; after that, basic techniques of grant writing are to be introduced.

《問合先：経営企画オフィス 研究支援部門》
[📄 https://www.ura.osaka-u.ac.jp/researchersupport/fd201910.html](https://www.ura.osaka-u.ac.jp/researchersupport/fd201910.html) [✉ ura_advice@lserp.osaka-u.ac.jp](mailto:ura_advice@lserp.osaka-u.ac.jp)》

限定 産業科学研究所構成員のみ対象

研究倫理教育及び 研究費不正使用防止に関する説明会

講師：菅沼克昭（産業科学研究所長 教授）
沼尾正行（産業科学研究所 研究倫理委員会委員長 教授）

吹田 10月23日 14:00-15:15

〈キーワード〉研究倫理、研究費不正使用防止、コンプライアンス教育

〈概要〉

研究所長及び研究倫理担当教授による講義後、事務担当者からの補足説明を行う。

《問合先：産業科学研究所 総務課 総務係》[✉ sanken-soumu-soumu@office.osaka-u.ac.jp](mailto:sanken-soumu-soumu@office.osaka-u.ac.jp)》

 30名
 1.5時間
 English
 対面



研究能力 開発プログラム

学術情報の迅速かつ効率的な収集方法や発信方法、厳守すべき研究倫理など、研究を行う上で必要な能力開発を目指すプログラムです。

 130名
 1.25時間
 日本語
 対面

◎受講にあたり、特別な配慮が必要な場合、開催2週間前までにご連絡ください。
◎本プログラムへの参加は「大阪大学FDポイント」に反映されます。ご自身のFDポイントはCLE上で確認できます。（FDポイントの確認方法はP.3をご覧ください）

限定 文学研究科構成員のみ対象

令和元年度 研究教育フォーラム

講師：上野修（大阪大学名誉教授）
安岡健一（文学研究科 准教授）

豊中 11月21日 15:30-17:30

〈キーワード〉研究、教育、社会学連携

〈概要〉

本研究科の名誉教授および本研究科等の教員によるそれぞれの専門分野に関する研究発表や社会学連携活動の講演と座談会を行い、それについて質疑応答を通じて、人文学研究の理解を深める。

《問合先：文学研究科 庶務係》[✉ bunsouhaku-syomu@office.osaka-u.ac.jp](mailto:bunsouhaku-syomu@office.osaka-u.ac.jp)》

 70名
 2時間
 日本語
 対面

トップダウン型外部資金の獲得に向けて（仮）

講師：未定

吹田 12月頃

〈キーワード〉「トップダウン」型外部資金、外部資金獲得、JST-CREST、PRESTO、AMED-CREST、PRIME

〈概要〉

JST、AMEDなどの「トップダウン型」の外部資金は、科研費（ボトムアップ型）とは異なり、採択を得るためには、国の目標やプログラムの研究総括などの方針等、十分把握した上で応募する必要があります。この勉強会では、これからトップダウン型外部資金にチャレンジされる中堅や若手の研究者が、トップダウン型プログラム事業の研究総括等経験者の講師との対話を通じ、そのような資金の獲得に向けて必要な知見を得ることを目指します。

《問合先：経営企画オフィス 研究支援部門》[✉ ura_advice@lserp.osaka-u.ac.jp](mailto:ura_advice@lserp.osaka-u.ac.jp)》

 50名
 1.5時間
 日本語
 対面

※掲載内容は8月16日時点の情報です。最新情報は各開催部局にお問い合わせいただくか、学内ポータルサイト「マイハantai」（FD関係）にてご確認ください。

 定員

 受講時間

 使用言語

 研修形式

 定員

 受講時間

 使用言語

 研修形式



研究能力 開発プログラム

どのように「研究力」が測られているのか？ —研究力指標の解説とツールを使用した 研究力分析手法について—

講師：藤井翔太(経営企画オフィス 准教授)
岡嶋裕子(経営企画オフィス 准教授)
望月麻友美(経営企画オフィス 准教授)
松村悠子(経営企画オフィス 特任助教(常勤))

【豊中】 12月頃

〈キーワード〉 研究力、SciVal、研究力指標、分野別被引用インパクト

〈概要〉

近年、指定国立大学法人の KPI (FWCI) や運営費交付金の配分指標 (Top10% 論文) などにおいて、研究力に関わる指標に基づいて評価されるようになってきました。そこで、現在国際的な研究評価の文脈において利用されている FWCI・Top10% 論文・国際共著論文など研究力指標について解説し、分析ツール (SciVal) の使った研究分野別の研究力の分析手法、および指標に基づく世界的な研究動向の把握方法などについて学びます。

《問合せ先：経営企画オフィス 経営企画部門》 ☞ matsumura_yuko@iai.osaka-u.ac.jp 《

40名 2時間 日本語 対面

【限定】 新任教員(3年以内)のみ対象

新任教員のための異分野研究交流会

講師：山口和也(全学教育推進機構 教授)

【豊中】 12月中旬

〈キーワード〉 異分野交流

〈概要〉

研究活動を始めた若手教員にとって、自身の専門分野のみならず、幅広い視野を持つことがオリジナリティのある研究を行う上で重要となってくる。このセミナーでは、総合研究大学である特徴を活かし、阪大内で研究活動を行っている若手教員が、自身の研究を専門外の人に説明する方法を学び、実践を通じて、自身の研究スキルの向上を目指す。また、他分野の研究成果・手法・論点を知ることにより、自身の研究に適用しオリジナリティのある研究を遂行するためのヒントを得る。その目的のために、本セミナーでは、参加者のうち数名に自身の研究を他分野研究者に分かりやすく説明し発表することを課す。また、他の参加者には、発表者の研究に対してクリティカルなピアレビューを行うことを求める。さらに、本セミナーの受講者間による異分野の共同研究により、新たな研究分野を開発することを推奨する。なお、事前に発表者を決定するため、本セミナーの申込み締切は、セミナーの1ヶ月前とする。

《問合せ先：全学教育推進機構 教育学習支援部》 ☞ http://www.tlsc.osaka-u.ac.jp/ ☞ tlsc@celas.osaka-u.ac.jp 《



4~10名 2時間 日本語 対面

アドバンストセミナー

講師：各回により異なる

【吹田】 毎月1回 16:00-17:00頃

〈キーワード〉 感染症、免疫学

〈概要〉

学外から招聘した感染症学・免疫学分野の第一線の研究者によるレクチャーを開催する。基本的に月1回。本セミナーは大学院高度副プログラム及び医学系研究科単位認定セミナーであり、若手研究者としての大学院生も対象。本セミナーシリーズ開催により、所内所属を含む特に若手研究者の知見向上を目指し、学内外の研究交流促進と活性化により、広い視野を持った研究者の育成をめざす。

《問合せ先：微生物病研究所 企画広報推進室》 ☞ suishin@biken.osaka-u.ac.jp 《

未設定 各1時間 日本語/English 対面

定員
受講時間
使用言語
研修形式

英語論文の執筆スキルアップセミナー (Punctuation)

講師：David Kipler(カクタス・コミュニケーションズ株式会社)

【オンライン】 随時

〈キーワード〉 論文、英語アカデミック・ライティング

〈概要〉

句読点の原則と、よくある句読点の間違いを見直します。講師は、最も多く使用される句読点の様々な役割及びよくある間違いや誤解について説明します。

* オンライン研修の配信は CLE を使用する予定。2020 年 3 月 15 日までに視聴してください。

《問合せ先：経営企画オフィス 研究支援部門》 ☞ ura-training@lserp.osaka-u.ac.jp 《

制限なし 1時間 English オンライン

英語論文の執筆スキルアップセミナー (Grammar and Usage)

講師：David Kipler(カクタス・コミュニケーションズ株式会社)

【オンライン】 随時

〈キーワード〉 論文、英語アカデミック・ライティング

〈概要〉

サイエンスライティングには専門分野やジャーナル毎に、様々な用法上の慣習があります。インパクトの大きいジャーナルでの発表を目指すサイエンスライターは、その分野での基本的な用法上の慣習を意識する必要があります。当研修は、サイエンスライティングにおける重要な文法と用法の諸要素を取り扱います。

* オンライン研修の配信は CLE を使用する予定。2020 年 3 月 15 日までに視聴してください。

《問合せ先：経営企画オフィス 研究支援部門》 ☞ ura-training@lserp.osaka-u.ac.jp 《

制限なし 1時間 English オンライン

【限定】 微生物病研究所構成員のみ対象

RIMD FD seminar series: Academic English for RIMD Researchers

講師：Dr. Neville Greening

【吹田】 2月～3月に4回開催予定

〈キーワード〉 研究成果の情報発信、Academic English

〈概要〉

学会発表を模した模擬プレゼンテーションを行い、英語のネイティブスピーカーにチェックをうける。また、プレゼンテーションだけでなく、質疑応答も行い、英語によるコミュニケーションや対応のノウハウも学ぶ。

《問合せ先：微生物病研究所 企画広報推進室》 ☞ biken-pr@biken.osaka-u.ac.jp 《

20名 1.5時間×4回 English 対面

【限定】 微生物病研究所、免疫学フロンティア研究センター、
及び医学系研究科構成員のみ対象

微研集談会

講師：各回により異なる

【吹田】 12月を除く毎月第4火曜日 16:00-17:00

〈キーワード〉 感染症、免疫学、がん、ゲノム解析学

〈概要〉

微生物病研究所、IFReC に所属する若手教職員を中心に、最新の研究成果について発表と、質疑応答を行う。本研究セミナーは医学系研究科単位認定セミナーでもあり、若手研究員としての大学院生教育目的も併せ持つ。本セミナー開催により、所内所属を含む大学院生や若手研究者の研究発表能力およびディスカッション能力の向上を図り、さらに広い視野を持った次世代を担う研究者の育成を目指す。

《問合せ先：微生物病研究所 企画広報推進室》 ☞ suishin@biken.osaka-u.ac.jp 《

未設定 各1時間 日本語/English 対面

※ 掲載内容は 8 月 16 日時点の情報です。最新情報は各開催部局にお問い合わせいただくか、学内ポータルサイト「マイハ نداイ」(FD 関係)にてご確認ください。



研究能力 開発プログラム

限定 蛋白質研究所構成員のみ対象

蛋白研コロキウム

講師：各回によって異なる

吹田 11月、1月、3月(日程未定)

〈キーワード〉蛋白質、構造生物学

〈概要〉

研究者間の研究交流促進により世界レベルで活躍できる研究者の育成のため、主に所内教員による専門分野に関する講演を開催します。年数回、場所は蛋白質研究所本館1階講堂で行います。若手研究者として大学院生も対象となる場合があります。

《問合先：蛋白質研究所 庶務係》 ☒ tanpakuken-syomu@office.osaka-u.ac.jp 》

60名 各0.5時間 日本語 対面

研究・教育の推進に資する図書館の利活用

講師：図書館職員

吹田 未定

〈キーワード〉図書館の利用、電子リソース、図書の購入・寄贈、雑誌の購読、機関リポジトリとオープンアクセス、教育・学習支援

〈概要〉

附属図書館が提供する情報サービス、図書館施設の利用方法等について、研究推進の観点、教育実施の観点から具体的な事例を基に学びます。

《問合先：附属図書館 図書館企画課 企画係》 ☒ https://www.library.osaka-u.ac.jp/ ☒ kikaku@library.osaka-u.ac.jp 》

50名 1.5時間 日本語 対面

定員
受講時間
使用言語
研修形式

社会と大学をつなぐ - 大阪大学の社会学共創 -

講師：佐伯康考(共創機構社会学共創本部 特任助教)

豊中 10月29日 15:30-17:00

〈キーワード〉社会学共創、アウトリーチ、産官地学連携

〈概要〉

「日経グローバル」が発表した「大学の地域貢献度ランキング2017」で大阪大学は全国1位に輝くなど、大阪大学の社会学共創は全国の国立大学で先進的なモデルとして考えられている。今回の研修では前半で大阪大学が取り組んできた社会学共創事業の内容や活動拠点(豊中、吹田、箕面、中之島、EXPOCITY)について学び、後半では自身の研究活動に即したアウトリーチ活動の計画を立案し、講師や参加者との意見交換を行う。

《問合先：共創機構 社会学共創本部》 ☒ info-ucc@ml.office.osaka-u.ac.jp 》



30名 1.5時間 日本語 対面

研究・教育のアウトリーチ活動に おける大学博物館の活用

講師：伊藤謙(総合学術博物館 特任講師(常勤))

高橋京子(社会学共創本部 准教授)

橋爪節也(社会学共創本部 教授)

豊中 11月8日 13:00-14:30

〈キーワード〉アウトリーチ、大学博物館、研究、教育

〈概要〉

昨今、大学教職員の社会貢献の必要性が重要視され、教育や研究のアウトリーチ活動が必須となっている。本学では研究や教育のアウトリーチの場として、大学博物館を活用しており、その方法は、展覧会、シンポジウム、ミュージアムレクチャーと多岐に渡る。本研修では、実例を踏まえ、メソッドや考え方を習得する。具体的には、担当講師が代表者を務める日本学術振興会科学研究費補助金若手研究(A)16H05900における研究成果のアウトリーチ活動の一環として開催した2018年秋季展覧会「The Mineral World 人と鉱物のつむぐ物語」などを紹介する。また研修開催時に実施予定の2019年秋季展覧会「佐治敬三展(仮称)」を見学し、実際のアプローチについての解説を行う。

《問合先：総合学術博物館・共創推進部 社会学共創課 社会学共創係》
☒ itoken@museum.osaka-u.ac.jp, kyousou-syagaku-syakyoku@office.osaka-u.ac.jp 》

30名 1.5時間 日本語 対面

大阪大学の歴史

講師：菅真城(社会学共創本部 教授)

豊中 11月25日 15:30-17:00

〈キーワード〉大阪大学、大阪帝国大学、大阪外国語大学

〈概要〉

前身諸学校を含む大阪大学の歴史について、重要トピックを取り上げ、時系列に学びます。また、歴史を明らかにするうえでの資料の重要性について学びます。

《問合先：総務部 総務課 文書管理室》 ☒ souki-soumu-bunsyo@office.osaka-u.ac.jp 》



40名 1.5時間 日本語 対面



社会学連携能力 開発プログラム

緒方洪庵が開いた適塾や大阪大学の歴史など本学への理解を深めるプログラムや、実社会と連携した教育や研究の進め方についてのプログラムです。

◎受講にあたり、特別な配慮が必要な場合、開催2週間前までにご連絡ください。
◎本プログラムへの参加は「大阪大学FDポイント」に反映されます。ご自身のFDポイントはCLE上で確認できます。(FDポイントの確認方法はP.3をご参照ください)

※掲載内容は8月16日時点の情報です。最新情報は各開催部局にお問い合わせいただくか、学内ポータルサイト「マイハantai」(FD関係)にてご確認ください。

定員
受講時間
使用言語
研修形式



社会学連携能力 開発プログラム

適塾から受け継ぐレガシー ー歴史・精神・文化財ー

講師：村田路人(文学研究科 教授)
島田昌一(医学系研究科 教授)
松永浩和(社会学共創本部 准教授)

吹田 2月ごろ(未定)

〈キーワード〉 適塾、適塾記念センター、適塾記念会、阪大の歴史、適塾顕彰活動、精神的源流、文化財

〈概要〉

緒方洪庵が開いた適塾・除痘館から大阪大学につながる歴史的事実を確認し、洪庵・適塾の教育・研究から阪大に連なる精神的源流を見出し、阪大・適塾記念会が文化財として適塾の遺産をどう守り伝えて来たかを説明します。

【プログラム】

- ・ 適塾から大阪大学へ 45分
- ・ 緒方洪庵・適塾の教育・研究 45分
- ・ 文化財としての適塾 松永 和浩

《問合せ先：共創推進部 社会学共創課 社会学共創係》
✉ kyouso-syagaku-syakyou@office.osaka-u.ac.jp

新任教員向け適塾見学会 ～阪大の歴史を辿る～

講師：村田路人(文学研究科 教授)
松永浩和(社会学共創本部 准教授)

その他 2月ごろ(未定)

〈キーワード〉 適塾、適塾見学会、映画、適塾記念センター、適塾記念会、阪大の歴史、適塾顕彰活動、精神的源流、文化財

〈概要〉

本学の教職員を対象として、『適塾と大阪大学の繋がり』に関する歴史的・精神認識や、適塾記念センター及び適塾記念会の顕彰事業の内容を啓発するために実施するものです。

【プログラム】

- ・ 新任教員向け適塾見学会～阪大の歴史を辿る～@ 適塾 90分
- ・ 映画『洪庵と1,000人の若ものたち』鑑賞及び解説 @ 大阪市まちづくり情報発信施設「アイ・スポット」75分

《問合せ先：共創推進部 社会学共創課 社会学共創係》
✉ kyouso-syagaku-syakyou@office.osaka-u.ac.jp

RIMD FD seminar series: 研究成果の社会実装を考える

講師：各回により異なる

吹田 未定

〈キーワード〉 研究成果の社会実装、アントレプレナーシップ

〈概要〉

微生物病研究所発ベンチャー企業関係者（技術顧問、CEOなど）によるレクチャーおよび企業業務のブース展示を開催する。基本的に年2回、場所は微生物病研究所融合型生命科学総合研究棟で行う。

《問合せ先：微生物病研究所 企画広報推進室》
✉ biken-pr@biken.osaka-u.ac.jp

限定 産業科学研究所構成員のみ対象

プレスリリース講習会

講師：未定

吹田 未定

〈キーワード〉 プレスリリース

〈概要〉

プレスリリースの種類、プレスリリースを行う際の流れを学びます。

《問合せ先：産業科学研究所 広報室》
✉ kouhou-staff@sanken.osaka-u.ac.jp

40名 2.5時間 日本語 対面

25名 3時間 日本語 対面

50名 1.5時間 日本語/English 対面

40名 1.5時間 日本語 対面

限定 工学研究科構成員のみ対象

コンプライアンス講習会

講師：青木伸一(工学研究科 教授)

吹田 10月9日 13:30-14:30

〈キーワード〉 コンプライアンス、公的研究費、不正使用防止

〈概要〉

工学研究科対象教職員および新任教員に対して 50分程度の講義ののち、質問を受け付けます。

《問合せ先：工学研究科 総務課 コンプライアンス推進室》
✉ kou-soumu-compliance@office.osaka-u.ac.jp

限定 サイバーメディアセンター及び情報推進部構成員のみ対象

サイバーメディアセンター ハラスメント防止に関する研修会

講師：座古勝(ハラスメント相談室 専門相談員・特任教授)

豊中 10月24日 13:30-14:30

吹田 10月24日 13:30-14:30

〈キーワード〉 ハラスメント防止

〈概要〉

サイバーメディアセンター及び情報推進部教職員を対象に、アカデミックハラスメント・パワーハラスメント防止に関する講演を行う。

《問合せ先：情報推進部 情報企画課 総務係》
✉ zyou-sui-kikaku-soumu@office.osaka-u.ac.jp

大阪大学薬品管理支援システム(OCCSIV) の利用について

講師：角井伸次(環境安全研究管理センター 准教授)

豊中 10月下旬～11月上旬

吹田 10月下旬～11月上旬

〈キーワード〉 大阪大学薬品管理支援システム(OCCSIV)

〈概要〉

大阪大学薬品管理支援システム(OCCSIV)の使用方法を習得する。また、化学物質に関連する法令等による規制についても理解を深める。

《問合せ先：安全衛生管理部 推進第一グループ》
✉ anzen-suisindai1@office.osaka-u.ac.jp

実験系廃液・排水の取扱い

講師：角井伸次(環境安全研究管理センター 准教授)

豊中 10月下旬～11月上旬

吹田 10月下旬～11月上旬

〈キーワード〉 実験系廃液・排水の取扱い

〈概要〉

実験系廃液の取扱いでは、実験室で生じる廃液の貯留区分や回収方法、注意点など危険な事例を含めて研修します。また実験系排水の取扱いでは、実験器具の洗浄方法・排水の規制項目や注意点、水質汚濁防止法の有害物質、管理要領・点検表、特定施設の届出などについて研修します。

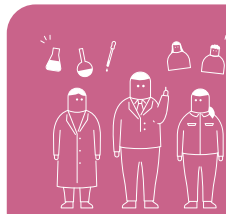
《問合せ先：安全衛生管理部 推進第一グループ》
✉ anzen-suisindai1@office.osaka-u.ac.jp

100名 1時間 日本語 対面

未設定 1時間 日本語 対面

50名 1時間 日本語 対面

50名 0.83時間 日本語 対面



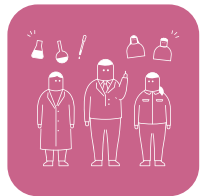
マネジメント能力 開発プログラム

薬品や廃液の取扱など安全衛生に関わる内容や、各種コンプライアンスに関わる内容など、組織の管理運営能力の開発を目指すプログラムです。

◎受講にあたり、特別な配慮が必要な場合、開催2週間前までにご連絡ください。
◎本プログラムへの参加は「大阪大学FDポイント」に反映されます。ご自身のFDポイントはCLE上で確認できます。(FDポイントの確認方法はP.3をご参照ください)

定員
受講時間
使用言語
研修形式

※掲載内容は8月16日時点の情報です。最新情報は各開催部局にお問い合わせいただくか、学内ポータルサイト「マイハ نداイ」(FD関係)にてご確認ください。



マネジメント能力 開発プログラム

非化学系のための化学薬品取扱講習

講師：山本仁(安全衛生管理部 教授)

豊中 10月下旬～11月上旬
吹田 10月下旬～11月上旬

〈キーワード〉化学薬品

〈概要〉

非化学系（生物系・物理系）の研究分野で化学薬品を取り扱う教職員に対して、化学物質が危険性・有害性を有していること、管理の必要性、法規制、管理方法、危険有害性情報、法令情報の取得方法について学びます。

《問合先：安全衛生管理部 推進第一グループ》[✉ anzen-suisindai1@office.osaka-u.ac.jp](mailto:anzen-suisindai1@office.osaka-u.ac.jp)》

 50名
 1.5時間
 日本語
 対面

高圧ガス・液体寒剤に関する安全講習 (低温センター吹田分室編)

講師：中本将嗣(低温センター 助教)

吹田 10月下旬～11月上旬

〈キーワード〉高圧ガス・液体寒剤

〈概要〉

低温寒剤の安全な取扱い方と注意点及び低温センターの利用法について講習します。また高圧ガスや高圧ガスボンベの取扱いについて初歩的な講習を行います。

《問合先：安全衛生管理部 推進第一グループ》[✉ anzen-suisindai1@office.osaka-u.ac.jp](mailto:anzen-suisindai1@office.osaka-u.ac.jp)》

 50名
 1.5時間
 日本語
 対面

高圧ガス・液体寒剤に関する安全講習 (低温センター豊中分室編)

講師：竹内徹也(低温センター 助教)

豊中 10月下旬～11月上旬

〈キーワード〉高圧ガス・液体寒剤

〈概要〉

低温寒剤の安全な取扱い方と注意点及び低温センターの利用法について講習します。また高圧ガスや高圧ガスボンベの取扱いについて初歩的な講習を行います。

《問合先：安全衛生管理部 推進第一グループ》[✉ anzen-suisindai1@office.osaka-u.ac.jp](mailto:anzen-suisindai1@office.osaka-u.ac.jp)》

 50名
 1.5時間
 日本語
 対面

大阪大学高圧ガス管理支援システム(OGCS) 利用講習

講師：中本将嗣(低温センター 助教)

豊中 10月下旬～11月上旬
吹田 10月下旬～11月上旬

〈キーワード〉高圧ガス管理支援システム(OGCS)

〈概要〉

高圧ガスを取り扱う教職員で大阪大学高圧ガス管理システム（OGCS）を使用する教職員が使用方法を習得する。

《問合先：安全衛生管理部 推進第一グループ》[✉ anzen-suisindai1@office.osaka-u.ac.jp](mailto:anzen-suisindai1@office.osaka-u.ac.jp)》

 50名
 1時間
 日本語
 対面

電気コンセント・配線および レーザー取扱いに関する安全講習

講師：百瀬英毅(安全衛生管理部 准教授)

吹田 10月下旬～11月上旬

〈キーワード〉電気コンセント・レーザー

〈概要〉

実験等で安全に電気・レーザーを取り扱うための基本事項を取得する。

《問合先：安全衛生管理部 推進第一グループ》[✉ anzen-suisindai1@office.osaka-u.ac.jp](mailto:anzen-suisindai1@office.osaka-u.ac.jp)》

 50名
 1時間
 日本語
 対面

限定 サイバーメディアセンター及び情報推進部構成員のみ対象

公的研究費の不正使用防止に係る コンプライアンス説明会

講師：情報推進部情報企画課長

豊中 10月～11月（予定）
吹田 10月～11月（予定）

〈キーワード〉コンプライアンス、公的研究費、不正使用防止

〈概要〉

不正使用防止計画推進室から提供された部局等コンプライアンス教育用教材等に基づき、部局におけるコンプライアンス教育の一環として、説明会を開催いたします。

《問合先：情報推進部 情報企画課 会計係》[✉ zyosui-kikaku-kaikei@office.osaka-u.ac.jp](mailto:zyosui-kikaku-kaikei@office.osaka-u.ac.jp)》

 未定
 0.5時間
 日本語
 対面

ポスドク・博士課程学生の キャリア・就職支援

講師：吉田耕治(産学共創本部 特任教授)
松尾誠二(産学共創本部 特任准教授)

吹田 11月12日 15:00-16:00

〈キーワード〉博士、企業、インターンシップ、JGRAD、就職

〈概要〉

博士後期課程への進学を修了後のキャリアパスが不透明という理由で躊躇する学生が少なくありません。しかし、実態は必ずしもそうではありません。正しい情報を学生に伝えて、キャリア選択の幅を広げるべく、博士の意識、企業の考え、各種統計データを共有し、就活の実務や研究型インターンシップ等のキャリア教育まで含めて学びます。

《問合先：キャリアセンター(産学共創本部 人材育成部門)》[✉ career@uic.osaka-u.ac.jp](mailto:career@uic.osaka-u.ac.jp)》

 30名
 1時間
 日本語
 対面

限定 文学研究科構成員のみ対象

2019 年度 文学研究科ハラスメント 防止研修会

講師：濱田綾(ハラスメント相談室 専門相談員・助教)

豊中 11月14日 17:30-19:00

〈キーワード〉セクシュアル・ハラスメント、アカデミック・ハラスメント、パワー・ハラスメント、相談、解決

〈概要〉

まず「ハラスメント」の基本と現状について学び、その後、具体的な事例をもとにグループワークを行う。最後に、問題解決のための議論と整理を行う。

《問合先：文学研究科 庶務係》[✉ bunsouhaku-syomu@office.osaka-u.ac.jp](mailto:bunsouhaku-syomu@office.osaka-u.ac.jp)》

 100名
 1.5時間
 日本語
 対面

 定員
 受講時間
 使用言語
 研修形式

※ 掲載内容は 8 月 16 日時点の情報です。最新情報は各開催部局にお問い合わせいただくか、学内ポータルサイト「マイハ نداイ」(FD 関係)にてご確認ください。



マネジメント能力 開発プログラム

ポスドク・博士課程学生の キャリア・就職支援(パート1)

講師：吉田耕治(産学共創本部 特任教授)
松尾誠二(産学共創本部 特任准教授)

豊中 11月19日 12:15-12:45

〈キーワード〉 博士、企業、インターンシップ、JGRAD、就職

〈概要〉

博士後期課程への進学を修了後のキャリアパスが不透明という理由で躊躇する学生が少なくありません。しかし、実態は必ずしもそうではありません。正しい情報を学生に伝えて、キャリア選択の幅を広げるべく、博士の意識、企業の考え、各種統計データを共有し、就活の実務や研究型インターンシップ等のキャリア教育まで含めて学びます。

《問合先：キャリアセンター(産学共創本部 人材育成部門)》 ☒ career@uic.osaka-u.ac.jp 》

30名 0.5時間 日本語 対面

限定 言語文化研究科及びマルチリンガル教育センター
構成員のみ対象

言語文化研究科ハラスメント防止研修会

講師：未定

豊中 11月21日 14:40-15:40(予定)

〈キーワード〉 ハラスメント防止

〈概要〉

ハラスメント防止に係る講演を行います。

《問合先：言語文化研究科・外国語学部 豊中事務室 総務係》 ☒ genbun-soumu@office.osaka-u.ac.jp 》

未設定 1時間 日本語 対面

ポスドク・博士課程学生の キャリア・就職支援(パート2)

講師：吉田耕治(産学共創本部 特任教授)
松尾誠二(産学共創本部 特任准教授)

豊中 11月26日 12:15-12:45

〈キーワード〉 博士、企業、インターンシップ、JGRAD、就職

〈概要〉

博士後期課程への進学を修了後のキャリアパスが不透明という理由で躊躇する学生が少なくありません。しかし、実態は必ずしもそうではありません。正しい情報を学生に伝えて、キャリア選択の幅を広げるべく、博士の意識、企業の考え、各種統計データを共有し、就活の実務や研究型インターンシップ等のキャリア教育まで含めて学びます。

《問合先：キャリアセンター(産学共創本部 人材育成部門)》 ☒ career@uic.osaka-u.ac.jp 》

30名 0.5時間 日本語 対面

限定 蛋白質研究所構成員のみ対象

蛋白研防災安全講習会

講師：未定

吹田 11月頃(未定)

〈キーワード〉 防災、消火訓練、安全管理

〈概要〉

学生・教職員を対象に防災などに関連する安全な取扱いに関する知識に基づく適切な管理方法を習得できる講習を行います。

《問合先：蛋白質研究所 庶務係》 ☒ tanpakuken-syomu@office.osaka-u.ac.jp 》

150名 1時間 日本語 対面

限定 工学研究科構成員のみ対象

コンプライアンス講習会

講師：青木伸一(工学研究科 教授)

吹田 12月4日 13:30-14:30

〈キーワード〉 コンプライアンス、公的研究費、不正使用防止

〈概要〉

工学研究科対象教職員および新任教員に対して 50 分程度の講義ののち、質問を受け付けます。

《問合先：工学研究科 総務課 コンプライアンス推進室》 ☒ kou-soumu-compliance@office.osaka-u.ac.jp 》

100名 1時間 日本語/English 対面

未定(同和問題に関するテーマの予定)

講師：未定

豊中 12月又は1月に開催予定

〈キーワード〉 人権問題、同和問題

〈概要〉

未定(同和問題に関するテーマで講演いただく予定)

《問合先：総務部 総務課 業務運営係》 ☒ soumu-soumu-jimukaikaku@office.osaka-u.ac.jp 》

100名 2時間 日本語 対面

限定 産業科学研究所構成員のみ対象

ハラスメント防止に関する講習会

講師：ハラスメント相談室 専門相談員

吹田 2月下旬 14:00-15:30

〈キーワード〉 ハラスメント防止

〈概要〉

講義形式やグループディスカッション等で実例をもとに学習します。

《問合先：産業科学研究所 総務課 人事係》 ☒ sanken-soumu-jinji@office.osaka-u.ac.jp 》

50名 1.5時間 日本語 対面

限定 言語文化研究科・外国語学部構成員のみ対象

キャンパスハラスメントに関する研修会

講師：未定

箕面 未定

〈キーワード〉 ハラスメント、ハラスメント対策、ハラスメント防止

〈概要〉

ハラスメントに関する講演を行います。

《問合先：言語文化研究科・外国語学部 箕面事務室 庶務係》 ☒ genbun-minoh-shomu@office.osaka-u.ac.jp 》

100名 1時間 日本語 対面

限定 蛋白質研究所構成員のみ対象

コンプライアンス講習会

講師：蛋白質研究所 会計係及び研究支援係

吹田 未定

〈キーワード〉 コンプライアンス、公的研究費、不正使用防止、教員発注制度

〈概要〉

不正使用防止計画推進室から提供されたコンプライアンス教育用教材等に基づき、部局におけるコンプライアンス教育の一つとして、公的研究費の運営・管理に関わる教職員向けに行います。

《問合先：蛋白質研究所 庶務係》 ☒ tanpakuken-syomu@office.osaka-u.ac.jp 》

60名 各1時間 日本語 対面

定員

受講時間

使用言語

研修形式

※ 掲載内容は 8 月 16 日時点の情報です。最新情報は各開催部局にお問い合わせいただくか、学内ポータルサイト「マイハ نداイ」(FD 関係)にてご確認ください。